

記録書 No.11

(2014 年 10 月 07 日～2014 年 10 月 16 日)

2014 年 10 月 17 日
乃村研究室 B4
藤田 将輝

0. 前回ミーティングからの指導・指摘事項

(1) 特になし

1. 実績

1.1 研究関連

(1) 研究テーマに関する項目

- | | |
|---------------------------|------------------|
| (A) 参考文献の読解 | (50 % , +0 %) |
| (B) 使用する共有メモリ領域の検討 | (55 % , +0 %) |
| (C) 特別研究中間報告の題目と概要の検討 | (100 % , +100 %) |
| (D) NIC のデバイスドライバの改変箇所の調査 | (20 % , +20 %) |

(2) 開発に関する項目

- | | |
|------------------------|--------------|
| (A) 自動ビルドスクリプトの作成 | (95 % , + %) |
| (3) 第 12 回 New 開発打ち合わせ | (10/07) |
| (4) 第 262 回 New 打ち合わせ | (10/16) |

1.2 研究室関連

(1) 特になし

1.3 大学・大学院関連

(1) 特になし

2. 詳細および反省・感想

2.1 研究関連

- (1C) 特別研究中間報告 (以下中間発表) の題目をと概要を決定した．題目は「Mint オペレーティングシステムを用いた NIC ドライバの割り込みデバッグ手法の実現」に決定した．今後は中間発表に向けてスライドを作成する．

- (1D) 割り込み先 OS の占有するコアが IPI を受信すると動作し，NIC のデバイスドライバが Mint の共有メモリからパケットを取得する割り込みハンドラを作成している．これには NIC ドライバを改変する必要があるため，NIC ドライバのソースコードを読解している．具体的には NIC のデバイスドライバがパケットを取得する際のバッファのアドレスを変更することで実現しようと考えている．まだどの関数でどのように受け渡しているかを特定できていない．今後は引き続き NIC のデバイスドライバのソースコードを読解し，改変すべき関数を特定する．

3. 今後の予定

3.1 研究関連

(1) 研究テーマに関する項目

- (A) 参考文献の読解 (10/23)
- (B) 使用する共有メモリ領域の検討 (10/24)
- (C) NIC のデバイスドライバの改変箇所の調査 (10/23)

(2) 開発に関する項目

- (A) 自動ビルドスクリプトの作成 (10/27)

(3) 第 13 回 New グループ開発打ち合わせ (10/22)

3.2 研究室関連

- (1) 平成 26 年度第 2 回研究室内部屋別対抗ボウリング大会 (10/17)
- (2) M1 論文紹介 (10/30)
- (3) 乃村研ミーティング (11/4)